

ClassPulse

Studio 操作ガイド

教員用アプリ（出題・集計・RAT・出席確認・ピアレビュー・結果出力）バージョン 1.1.3

ClassPulse は授業やイベントでリアルタイムに回答を収集するツールです。本書は教員用アプリ「Studio」の主要画面と操作を、実機／シミュレータの画面とともに解説します。左に画面、右に説明を配置しています。1.1.3 では、別の端末から進行中の授業画面を閲覧できる「閲覧専用モニター」、RAT編成CSVの「ラベル」列（ピアレビューの表示名を教員が指定）、ピアレビュー進捗での自主完了と強制終了の区別、教員が再入室したときのRAT結果の復元と復元できなかった場合の警告、出力ファイル名への時刻付与（先に保存したファイルを上書きしない）、および参加コード画面からセッションを終了せずに結果を開ける「結果を見る」が加われました。あわせて、授業中にデータを失わないための運用のコツを第11章にまとめています。

バージョン: 1.1.3 発行日: 2026年7月31日

発行: AMR Team TOKAI

スクリーンショット: 実機／シミュレータ実測（50カット）

目次

はじめての方へ（簡易操作ガイド）

まずはこれだけ — 通常モードの5ステップ

RATモードの使い方

困ったときは

第1章 導入と準備

S-01	ホーム画面
S-29	設定・接続先
S-30	同義語辞書
S-24	名簿
S-25	RATグループ編成
S-51	ラベル列の送信確認

第2章 セッションの作成

S-02	モード選択（通常）
S-03	モード選択（RAT ON）

第3章 進行画面（通常問題）

S-04	進行画面・出題前
S-05	選択式・集計中
S-06	円グラフ表示
S-07	選択者一覧
S-08	タブレット2カラム・出題前
S-09	タブレット2カラム・集計中
S-10	複数回答・選択可能数シート
S-11	複数回答・集計棒グラフ
S-16	割込ボトムシート
S-17	ワンタップ次の出題
S-18	締切後パネル
S-20	未回答者一覧
S-21	記述式集計
S-22	記述・類似集約

第4章 RAT（iRAT→gRAT）

S-12	RAT・iRAT進行
S-13	gRATパターン選択

S-14	RAT・gRAT進行
S-15	RATグループビュー
S-34	gRAT完了
S-35	gRAT再回答ピッカー
	第5章 出席確認
S-31	出席確認・未実施
S-32	出席マトリクス
S-33	出席・終了条件シート
	第6章 RATピアレビュー
S-36	ピアレビュー開始確認
S-37	ピアレビュー進捗
	第7章 結果と出力
S-26	結果画面
S-27	結果出力ボタン群
S-38	セッション終了確認
S-28	RAT対比表示
	第8章 トラブル対応
S-23	固有キー重複バナー
S-50	RATが復元されていない警告
	第9章 合同授業とクラス名
S-40	合同授業（複数の名簿を1セッションに）
S-41	合流警告（学生番号の衝突）
S-42	合同RAT（複数の編成を合流）
S-43	クラス名の入力規則とCPA連携
S-44	名簿セット・RATグループの改名
	第10章 閲覧専用モニター
S-45	モニターとして参加
S-49	モニターの承認待ち
S-46	モニター接続の要求（教卓側）
S-47	接続中のモニター一覧
S-48	モニター側の画面（閲覧のみ）
S-52	別の端末で操作中
	第11章 データを失わないために
S-53	アプリを前面に置いたままにする

- S-54 「復元されていません」と出たら保存しない
- S-55 出力ファイル名と、終了前の出力

まずはこれだけ — 通常モードの5ステップ

教員用アプリ Studio / 所要 3分。名簿の準備がなくても、そのまま始められます。

「質問を出して、その場で集計を見せる」がいちばん基本の使い方です。学生は Join アプリか Web ブラウザから、6桁の参加コードかQRコードで入ってきます。

1 セッションを作る

ホーム画面の「セッション作成」を押します。続くモード選択で 記名 / キーのみ / 匿名のどれかを選びます。迷ったら、氏名を残したくない授業アンケートなら「匿名」、出席や成績に結び付けたいなら「記名」を選んでください。



2 参加コードを見せる

進行画面の上部に 6桁の参加コードとQRコードが出ます。これをスクリーンに投影するか読み上げれば、学生が参加できます。ヘッダー右の参加人数をタップすると、誰が入ってきたかを確認できます。



3 問題を出す

画面下の 2～10択 または 記述のボタンを押すだけで出題されます。問題文はアプリに入力しません。口頭やスライドで示し、学生は記号 (A・B・C...) や短文で答えます。複数選ばせたいときは「複数回答可」をONにします。



4

締切って結果を見せる

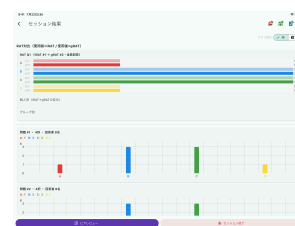
回答数・回答率・経過時間がリアルタイムに更新されます。頃合いで「締切る」を押すと集計が確定し、棒グラフ／円グラフを切り替えて提示できます。グラフの棒をタップすると、その選択肢を選んだ人の一覧が開きます。



5

セッションを終了して結果を出す

授業の最後に「セッション終了」を押すと結果画面に移ります。ここからPDF・Excel・CSVで出力できます。出席確認を使った場合は、その記録も一緒に出力されます。



問題文と選択肢の内容は学生の端末に配信されません。記録に残るのは回答記号／本文と時刻だけです。

間違えて出題しても「出題取消」で取り消せます。次の問題はワンタップで続けて出せます。

名簿（CSV）を先に取り込んでおくと、未回答者の氏名がその場で分かります。記名／キーのみモードで有効です。

複数クラスをまとめて授業する日は「複数の名簿を使用」トグルで合同授業にできます。名簿セット名（クラス名）は半角英数字とアンダーバー・32文字以内で付け、結果の「名簿」列でクラスを区別できます。

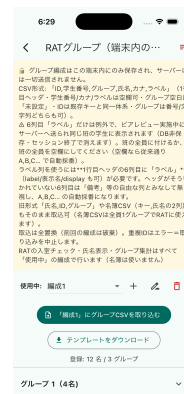
RATモードの使い方

チーム基盤型学習（TBL）の準備確認テスト。個人 → グループの2段階構成で実施します。

RATモードでは、同じ問題に まず個人で（iRAT）、次にグループで相談して（gRAT）回答します。個人とグループの識別が要するため、匿名方式は選べません。

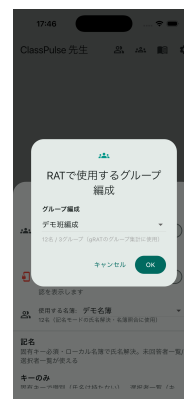
1 事前にグループを登録する

ホーム画面右上のRATグループ編成 から、班分けをCSVで取り込みます。取り込みは全置換です。固有キーが重複しているとエラーになります。ここだけは授業前に済ませておいてください。



2 RATをONにしてセッションを作る

セッション作成のモード選択で RATトグルをONにします。使用するグループ編成を選ぶと、人数とグループ数のサマリが表示されます。数が合っているかここで確認してください。



3 iRAT（個人）を実施する

通常モードと同じ操作で出題します。学生は一人ずつ自分の端末で回答します。進行画面には個人の回答状況が表示されます。



4

gRAT（グループ）に切り替える

iRATが終わったら

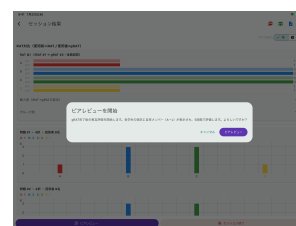
gRATパターンを選びます。グループで相談し、各班の代表者1名が入力します。グループビューで、どの班がどこまで進んだかを一覧できます。



5

（任意）ピアレビューを行う

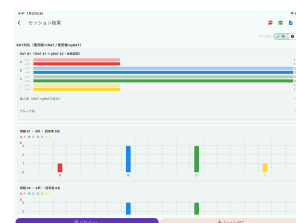
gRAT終了後、ピアレビューを開始できます。学生同士がグループ内の貢献度を5段階で評価します。評価は本人以外に見えません。進捗は進行画面で確認でき、全員待たずに強制終了もできます。



6

結果を出力する

セッション終了後の結果画面で、iRATとgRATの対比が確認できます。個人得点・グループ得点・ピアレビュー結果をまとめて出力できます。



gRATは同じ問題に複数回挑戦させることができます（再回答）。何回目で正解したかが記録されます。RAT中でも、通常問題を割り込みで出題できます。理解度の確認をはさみたいときに使えます。グループの代表者は班内で1名に固定されます。誰が入力したかは結果に残ります。

困ったときは

よくあるつまづきと、その場でできる対処。

1

学生が参加できない

参加コードの有効期限が切れていないか、接続先URLが既定のままかを確認してください。同じ教室のWi-Fiから多人数が同時参加すると、一時的に参加が集中して弾かれることがあります。少し時間をおいて再度お試しください。

2

同じ固有キーで参加できないと言われた

固有キーは1人1つです。すでに別の端末で使用中のキーでは参加できません。端末を乗り換えた場合は、直前の端末では回答できなくなります。



3

出席を記録したい

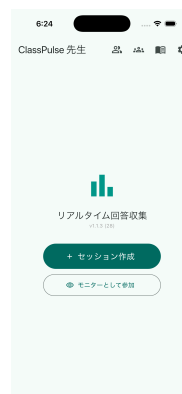
進行画面のヘッダー右にある参加人数をタップすると出席確認が開きます。名簿と突き合わせた出席マトリクスが表示され、遅刻・途中退出も記録されます。セッション終了時に結果と一緒に出力されます。



4

アプリを閉じてしまった

ホーム画面に「前回セッションに復帰」が表示されます。そこから同じセッションを続けられます。回答データは失われません。ピアレビューなど待ち時間の長い工程では、Studioを前面に置いたままにしておく也确实です。復帰後に「RATデータが復元されていません」の赤い警告が出たら、そのまま保存しないでください（→ 第11章「データを失わないために」）。



アプリを閉じたり通信が切れても、90分以内なら「前回セッションに復帰」で同じセッションに戻れます。90分を超えるとセッションはサーバーから消え、戻れません。

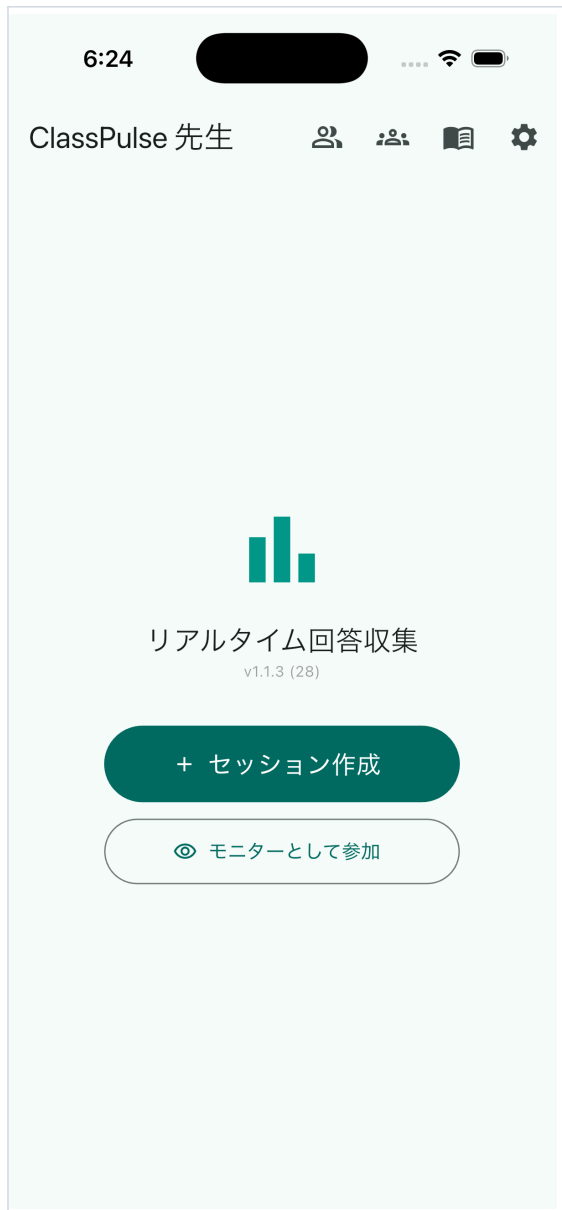
この先の各画面の詳しい説明は、次ページ以降の本編をご覧ください。

ご不明な点は AMR Team TOKAI までお問い合わせください。

■ 第1章 導入と準備

S-01

ホーム画面



起動直後のホーム画面です。中央の「セッション作成」から新しいセッションを開始します。前回のセッションがあれば「前回セッションに復帰」が表示され、アプリを閉じてしまっても同じセッションに戻れます。1.1.3からは、その下に「モニターとして参加」が常に表示されます。別の端末（もう1台のiPadなど）から、進行中の授業画面を閲覧専用で表示するための入口です（第10章）。右上には名簿・RATグループ・同義語辞書・接続先設定のアイコンが並び、タイトル下に現在のバージョン（例: v1.1.3 (28)）を控えめに表示します。

設定・接続先

17:40

<

接続先設定

サーバーURL (例: ws://192.168.0.10:8090 / wss://example.com/cp)

WS URL

ws://127.0.0.1:8093

既定: ws://127.0.0.1:8093

保存

既定に戻す

表示言語

☒ 端末の言語に従う

☐ 日本語

☐ English

📖

操作マニュアル (Studio) を開く

📱

アプリのダウンロード (QR)

設定画面です。接続先URL、表示言語（端末の言語に従う / 日本語 / English）の切替、操作マニュアルへのリンク、アプリのダウンロード（QR）があります。表示言語はその場で切り替わります。

同義語辞書

17:46

<
同義語辞書

同義語辞書は記述集約で「略語・正式名・訳語・誤字」を1つの正規語へまとめます。
CSV形式: 「正規語,別名1,別名2,...」 (1行=1概念・列数可変・ヘッダ任意)。
例: 心筋梗塞,MI,AMI,myocardial infarction
サーバーへ送るのは語彙のみ。名簿等の個人データは送られません。

辞書CSVを取り込む

テンプレートをダウンロード

登録: 4 概念

↑ 心筋梗塞
MI, AMI, myocardial infarction

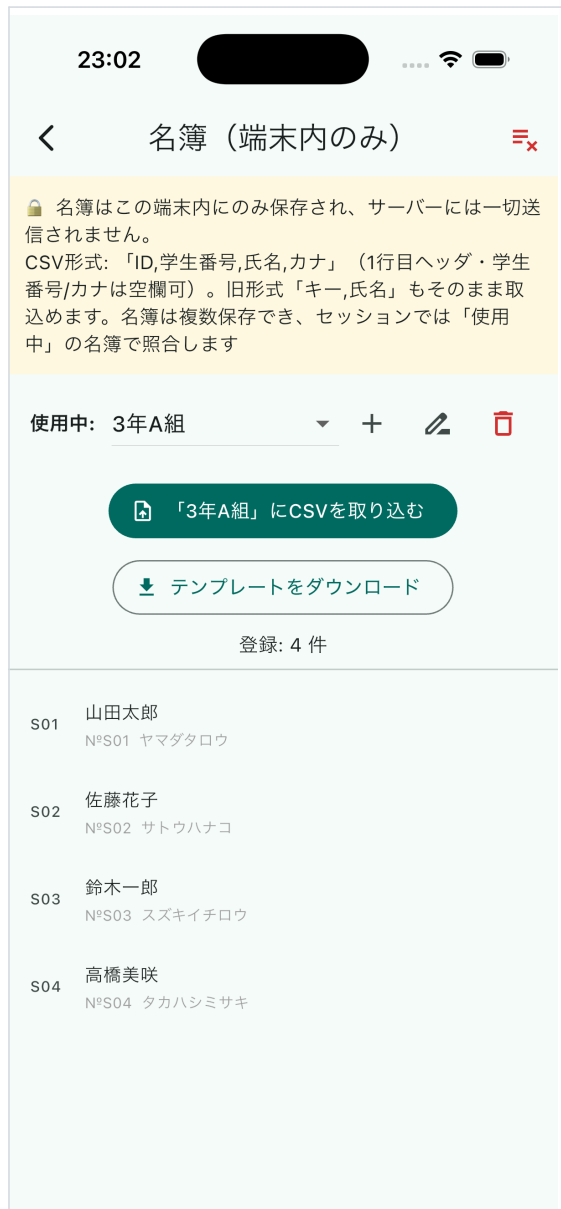
↑ 狭心症
AP, angina pectoris, アンギーナ

↑ 高血圧
HT, hypertension, ハイパーテンション

↑ 糖尿病
DM, diabetes, ダイアベティス

記述式の類似集約で、略語・正式名・訳語・誤字などを1つの正規語へまとめるための同義語辞書です。CSVで概念を取り込みます。送信されるのは語彙のみで、名簿などの個人データは送られません。

名簿



名簿の管理画面です。CSVで名簿を取り込み、テンプレートをダウンロードできます。氏名のほかフリガナ・学生番号の列に対応します。「全消去」には確認ダイアログが表示されます。記名/キーのみモードで使します。

RATグループ編成

6:29

< RATグループ（端末内の…

グループ編成はこの端末内のみ保存され、サーバーには一切送信されません。
 CSV形式: 「ID,学生番号,グループ,氏名,カナ,ラベル」（1行目ヘッダ・学生番号/カナ/ラベルは空欄可・グループ空白は「未設定」・IDは既存キーと同一体系・グループは番号/文字列どちらも可）。
 △ 6列目「ラベル」だけは例外で、ピアレビュー実施中にサーバーへ送られ同じ班の学生に表示されます（DB非保存・セッション終了で消えます）。班の全員に付けるか、班の全員を空欄にしてください（空欄なら従来通りA,B,C...で自動採番）。
 ラベル列を使うには**1行目ヘッダの6列目に「ラベル」**（label/表示名/displayも可）が必要です。ヘッダがそう書かれていない6列目は「備考」等の自由な列とみなして無視し、A,B,C...の自動採番になります。
 旧形式「氏名,ID,グループ」や名簿CSV（キー,氏名の2列）もそのまま取込可（名簿CSVは全員1グループでRATに使えます）。
 取込は全置換（前回の編成は破棄）。重複IDはエラー＝取り込みを中止します。
 RATの入室チェック・氏名表示・グループ集計はすべて「使用中」の編成で行います（名簿は使いません）

使用中: 編成1

「編成1」にグループCSVを取り込む

テンプレートをダウンロード

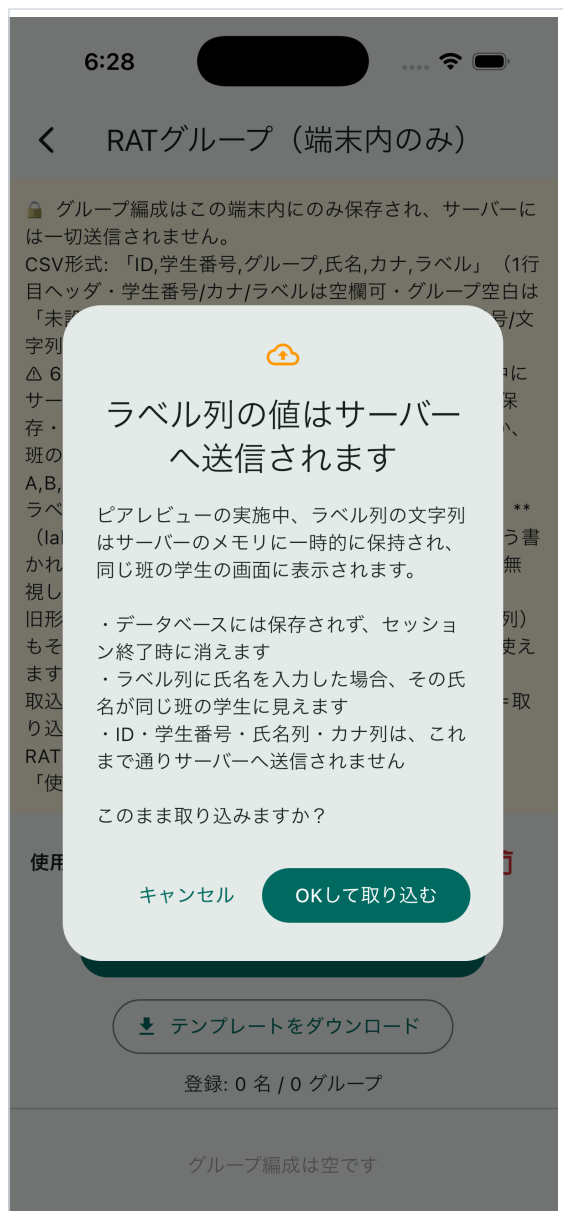
登録: 12 名 / 3 グループ

グループ 1 (4名)

RAT用のグループ（班）編成画面です。編成一覧を確認し、CSVで取り込めます。取り込みは全置換で、固有キーの重複はエラーになります。「全消去」には確認ダイアログが表示されます。1.1.3 から、取り込むCSVの1行目（ヘッダ）は「ID,学生番号,グループ,氏名,カナ,ラベル」の6列になりました。6列目の「ラベル」は任意の列で、ピアレビューのときに同じ班の学生の画面へ表示される名前（表示名）を教員が指定するために使います。空欄のままにすれば、これまでどおり A・B・C... の自動採番で表示されます。ラベルに値を入れたCSVを取り込むと、送信内容の確認ダイアログが表示されます（次ページ S-51）。

ラベルは班の全員に付けるか、班の全員を空欄にしてください（班内で重複不可・20文字まで）。守られていないときは「ラベル列エラー」となり、取り込みは中止され、現在の編成は変更されません。

ラベル列の送信確認



ラベル列に値の入ったCSVを取り込んだときに必ず表示される確認ダイアログです (タイトル「ラベル列の値はサーバーへ送信されます」)。ClassPulse は名簿をサーバーに送らない設計ですが、ラベル列だけは唯一の例外です。ピアレビューの実施中、ラベルの文字列はサーバーのメモリに一時的に保持され、同じ班の学生の画面に表示されます。データベースには保存されず、セッション終了時に消えます。ラベルに氏名を入れた場合は、その氏名が同じ班の学生に見えます。ID・学生番号・氏名列・カナ列は、これまでどおりサーバーへ送信されません。内容を確認して「OKして取り込む」を押すと取り込みが確定します。「キャンセル」を押した場合は取り込み自体が破棄され、現在の編成はそのまま残ります。

ラベル列と認識されるのは、1行目ヘッダの6列目が「ラベル」(label / 表示名 / display も可)と書かれている場合だけです。それ以外の見出しの6列目は「備考」などとみなして無視します。

■ 第2章 セッションの作成

S-02

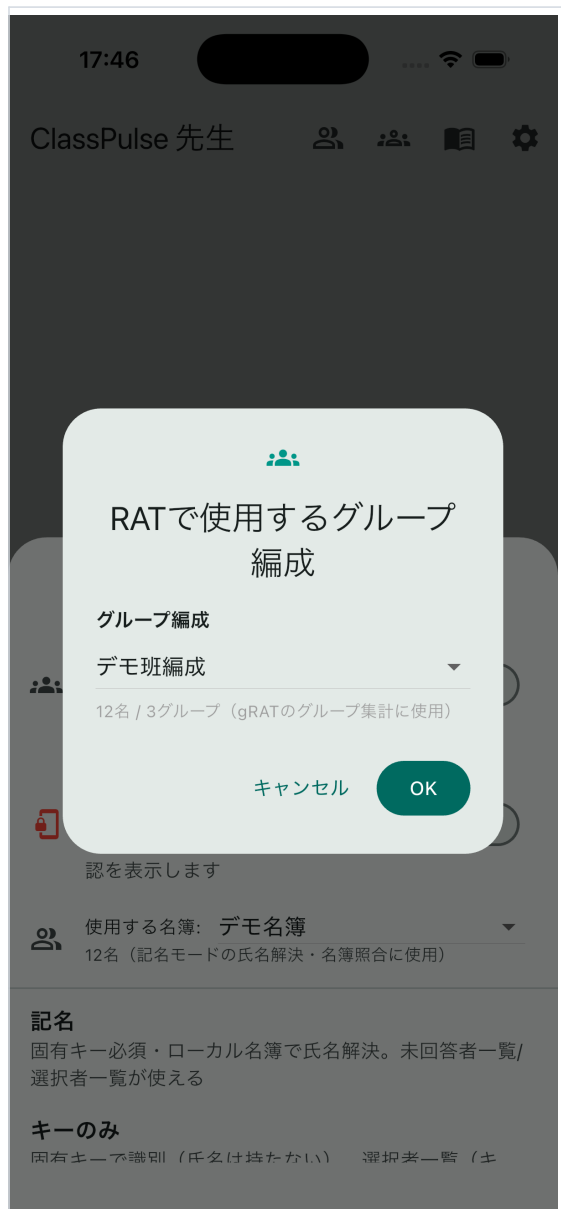
モード選択（通常）



「セッション作成」で開くモード選択シートです。RATトグルはOFF。「記名 / キーのみ / 匿名」の3方式と使用する名簿を選びます。「自分の端末で回答するか参加者に確認する（不正回答対策）」を有効にすると、学生側に自己端末の確認が表示されます。キーのみは固有キーで識別し氏名は保持しません。

S-03

モード選択 (RAT ON)



RATトグルをONにすると、グループ編成の選択に進み、編成のサマリ（人数／グループ数）が表示されます。RATでは個人・グループの識別が必要なため、匿名方式は選べなくなります。

■ 第3章 進行画面（通常問題）

S-04

進行画面・出題前



セッション開始直後の進行画面です。上部の状態チップに「出題前 — 形式を選んで出題」と表示されます。学生は参加コード（6桁）かQRコードで参加します。ヘッダー右の参加人数表示をタップすると出席確認を開けます。下部の出題ボタン（2～10択・記述）と「複数回答可」トグルで問題を出します。1.1.3 から、参加コードの並びの最後に「結果を見る」が追加されました。これを押すと、セッションを終了せずにそのまま結果画面を開けます（戻れば進行中の画面に戻ります）。授業の途中で集計を確認したいときや、終了前に結果を出力しておきたいときに使ってください（第7章 S-26）。

この画面は「結果を見る」まで見えるよう下までスクロールした状態です。参加コード（6桁）はQRコードのすぐ上にあり、上へスクロールすると出ます（iPadでの表示は S-08 を参照）。

選択式・集計中



選択式を出題した集計画面です。状態チップは「出題中 — 回答受付中」。問題番号・回答数・回答率・経過時間がリアルタイムに更新され、棒／円グラフを切り替えられます。「締切る」で回答を締め切ります。

円グラフ表示



棒 / 円トグルを「円」に切り替えた表示です。各選択肢の割合と人数が凡例に表示されます（例：A:2, B:8, C:3, D:3）。単一回答の分布把握に便利です。

選択者一覧



グラフの棒 / 扇をタップすると「選択肢 を選んだN名」の一覧が開きます。昇順 / 降順 / ランダムに加え、早押し順で並ぶ「回答順」を選べます。キーのみモードでは固有キーが一覧されます。

S-08

タブレット2カラム・出題前



iPadなど横幅の広い端末では2カラム表示になります。左に操作、右にプレビューを配置し、中央の仕切り（スプリッター）を左右にドラッグして幅を調整できます。

S-09

タブレット2カラム・集計中



2カラム表示で選択式を集計中の画面です。右ペインにグラフが大きく表示され、教室のスクリーン投影に向いています

。

S-10

複数回答・選択可能数シート



「複数回答可」トグルをONにして出題すると開く「選択可能数を選んでください」シートです。[1][2][3]...から選択上限を指定します。

S-11

複数回答・集計棒グラフ



複数回答問題の集計画面です。回答者数と延べ選択数を併記し（例：16名 / 24選択）、各選択肢の割合を表示します。

割込ボトムシート



RAT進行中などに通常問題を割り込んで出題するボトムシートです。2～10択から選べます（RAT対象外の単発設問）。

S-17

ワンタップ次の出題



18:07

進行中 [記名] 12 / 12

参加コード

775975

出題後 — 締切済み (結果表示)

問題	回答数	回答率	経過	状態
#1	7	58%	00:33	締切

✓ 棒 円

次の問題 (＃2) を出題: グラフをタップ → その選択肢を選んだ人一覧

☑ 複数回答可

2 3 4 5

6 7 8 9

10 記述

▶ 次の出題: 4択 (単一回答)

直前と同じ形式でもう一問出したいときの「次の出題: 択...」ボタンです。タップだけで同形式の設問を続けて出せます。

締切後パネル

The screenshot shows a mobile application interface for ClassPulse Studio. At the top, the status bar displays the time 17:51, a blacked-out name, and signal/battery icons. Below this, a navigation bar shows a back arrow, the text '進行中 [キー]' (In Progress [Key]), and a group icon with '16' people. The main content area has a light green background. It starts with the text '参加コード' (Participation Code) above a large number '276941'. Below the number is a QR code, with the text 'コード入力 or QRで参加' (Participate by entering code or QR) underneath. Further down, it says '前回の出題形式' (Previous question format) followed by '4択（単一回答）' (4-choice (single answer)). There are two buttons: '締切を取り消す' (Cancel due) with a red arrow icon, and '出題取り消し' (Cancel question) with a red 'X' icon. Below these, it says '次の問題（#2）を出題:' (Next question (#2) to be asked:). There is a toggle switch for '複数回答可' (Multiple answers allowed), which is currently turned off. Below the toggle is a numeric keypad with buttons for numbers 2 through 10, and a '記述' (Text entry) button with a pencil icon. At the very bottom, there is a black bar with yellow diagonal stripes and the text 'BOTTOM OVERFLOWED BY 9.0 PIXELS'.

出題を締め切った状態です。状態チップは「出題後 — 締切済み（結果表示）」。「締切を取り消す」で直前1問を回答受付に戻せます。「出題取り消し」は結果に残さず無効化します。下部には次の問題の出題ボタンも表示されます。

未回答者一覧



記名モードで出題中に「未回答者」をタップすると開く一覧です。まだ回答していない参加者（N名）を確認し、声かけに使えます。

記述式集計

18:00

.... 電池

< 進行中 [キー]

16

参加コード

276941



コード入力 or QRで参加

前回の出題形式

記述 (単一回答)

⊗ 出題取り消し

問題	回答数	回答率	経過	状態
#4 (記述)	16	100%	04:04	受付中

類似集約 ☒

🔍 集約

✓ 生表示

呼吸

5

光合成だと思う

4

🔒 締切る

記述式問題の集計画面です。「類似集約」トグルと「集約 / 生表示」切替があります。生表示では回答テキストがそのまま件数付きで並びます。

記述・類似集約

18:00

< 進行中 [キー]
16

参加コード

276941



コード入力 or QRで参加

前回の出題形式

記述（単一回答）

⊗ 出題取り消し

問題	回答数	回答率	経過	状態
#4 (記述)	16	100%	03:47	受付中

類似集約
☒

AIで整理

光合成
5件

タップで2件を選んで統合／長押しで分割（誤統合の救済）。締切後「AIで整理」で意味統合。

🔒 締切る

「集約」表示です。似た回答を代表語＋件数でまとめ、締切後は「AIで整理」で意味的な統合も可能です。タップで2件を統合、長押しで分割（誤統合の救済）ができます。同義語辞書を取り込むと表記ゆれもまとまります。

■ 第4章 RAT (iRAT → gRAT)

S-12

RAT ・ iRAT進行



記名RATを開始した直後のiRAT（個人テスト）進行画面です。ヘッダーはインディゴ帯で「進行中 [記名・iRAT] 」。全員の回答が集まったら「gRATへ進む」でチーム戦へ移行します。

gRATパターン選択



「gRATへ進む」をタップすると開くパターン選択ダイアログです。「全員回答」か「代表者1名」かを選びます。

RAT・gRAT進行

18:34

進行中 [記名・g...]

16 / 16

参加コード

768975

コード入力 or QRで参加

前回の出題形式

4択（単一回答）

⊗ 出題取り消し

問題	回答数	回答率	経過	状態
#2	16	100%	00:53	受付中

個人 グループ 棒 円

G1 B

G2 B

未回答者 締切る

gRAT（グループテスト）の進行画面です。ヘッダーはディープオレンジ帯。「同じ問題（第n問）を再回答」で同一問題をもう一度出題でき、通常問題の割り込みもできます。グループカード（G1, G2...）ごとの回答が並びます。

RATグループビュー

18:31

進行中 [記名・i...]

16 / 16

参加コード

768975

コード入力 or QRで参加

前回の出題形式

4択 (単一回答)

⊗ 出題取り消し

問題	回答数	回答率	経過	状態
#1	16	100%	04:52	受付中

個人 **グループ** 棒 円

G1 A B

G2 B

未回答者 締切る

グループ単位の集計ビューです。各グループカードに代表回答（A/B...）を大きく表示し、正解と一致していれば通常色、不一致は橙枠で強調されます。

gRAT完了

18:14

進行中 [記名・g...]

12 / 12

参加コード

991402

出題後 — 締切済み (結果表示)

問題	回答数	回答率	経過	状態
#2	12	100%	00:16	締切

個人 グループ 棒 円

G1 A

G2 B

gRAT完了 🎉 セッションを終了すると iRAT/gRAT 対比を表示します

再回答 (一覧から選ぶ)

全結果

通常問題を割り込む (RAT対象外)

gRATが全問終わった画面です。「再回答 (一覧から選ぶ)」で任意の問題をもう一度、「全結果」で集計へ進めます。「通常問題を割り込む」で追加設問も出せます。

S-35

gRAT再回答ピッカー



「再回答」から開く問題ピッカーです。「第 n 問（これまで k 回実施）」のように、どの問題を再回答するかを一覧から選べます。全試行は結果に併記されます。

■ 第5章 出席確認

S-31

出席確認・未実施



まだ出席確認を実施していない状態です。ヘッダーの参加人数をタップして開きます。名簿の全登録者を接続状況つきで一覧します（記名時はフリガナ、キーのみは固有キー）。RATでは班編成を表示します。匿名では個人一覧は表示しません。

出席マトリクス

18:06

< 進行中 [記名] 12 / 12

出席確認

+ 新しい出席確認を開始 (第2回)

第1回 締切

出席 6 遅刻 6 不在 0 欠席 0

出席マトリクス (○=出席 / △=遅刻 / ▲=不在 / ×=欠席 / 未=受付中で未押下)
受付中に押下=出席・締切までに押さなかった参加者は自動で遅刻 (時刻なしの△)・不参加=欠席

氏名	学生番号	第1回
山田太郎	2024001	○ 18:05:23
佐藤花子	2024002	○ 18:05:23
鈴木一郎	2024003	○ 18:05:23
田中美咲	2024004	○ 18:05:23
高橋健太	2024005	○ 18:05:23
伊藤さくら	2024006	○ 18:05:23
渡辺翔	2024007	△ 18:04:05

6 7 8 9

10 記述

出席状況の一覧です (○=出席 / △=遅刻 / ▲=不在 / ×=欠席 / 未=受付中で未押下)。受付中に押下すれば出席、締切までに押さなければ自動で遅刻 (時刻なしの△) になります。途中退出者は別枠で一覧します。PDF / CSV / Excelへ出力できます。

出席・終了条件シート

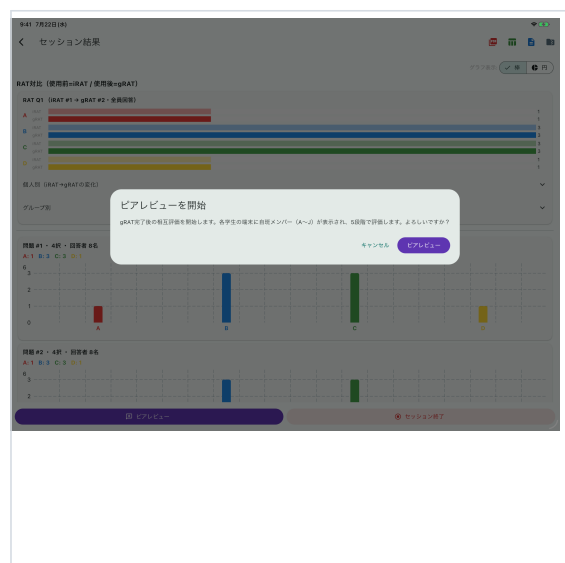


出席確認の締切方法を選ぶシートです。秒数（10 / 30 / 60 秒...）やカスタム秒での自動締切、または手動終了を選べます。

■ 第6章 RATピアレビュー

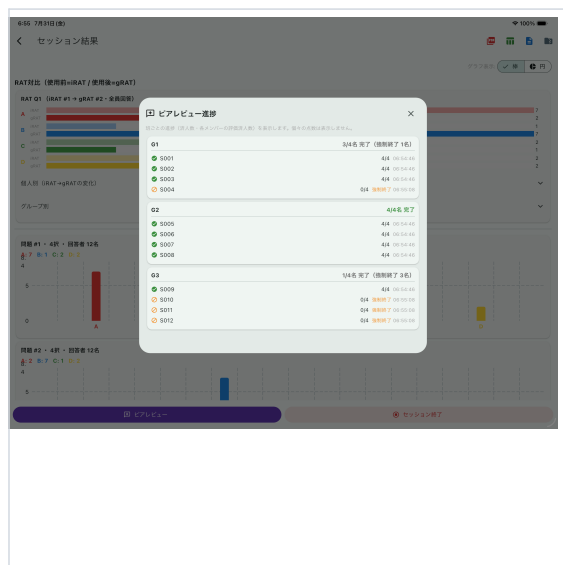
S-36

ピアレビュー開始確認



結果画面の「ピアレビュー開始」で開く確認ダイアログです。gRAT完了後の相互評価を開始します。各学生の端末に各班メンバー（A～J）が表示され、5段階で評価します。編成CSVにラベル列（第1章 S-25 / S-51）を付けている場合は、A～Jではなくそのラベル（氏名など）が同じ班の学生に表示されます。なお、ピアレビューを実施すると出力内容が変わるため、それ以前に保存した PDF / Excel / CSV / ZIP はいったん未保存の扱いに戻り、「ピアレビューの結果が追加されました。データを保存し直してください」と案内されます。保存し直したファイルは時刻の違う別名になるので、先に保存したファイルが消えることはありません。

ピアレビュー進捗

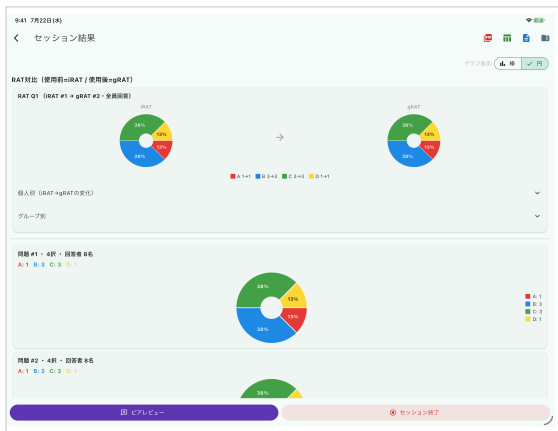


ピアレビューの進捗ダイアログです。班ごとに「 / 名完了」を表示します。ここに数えられるのは学生が自分で評価を送信した人（自主完了）だけです。教員が「ピアレビュー終了」で締め切った人は完了数に含まれず、その班の見出しには「3/5名完了（強制終了2名）」のように括弧付きで人数が併記されます。班の見出しが緑になるのは全員が自主完了したときだけです。メンバー行のアイコンは3種類です。緑のチェック＝自分で送信して完了、橙の禁止マーク＝教員が強制終了（行に「強制終了」の橙ラベルが付きます）、灰の砂時計＝まだ送信していない。個々の点数は表示しません（秘匿）。右上の「ピアレビュー終了」で、未提出があってもその時点で確定できます。

■ 第7章 結果と出力

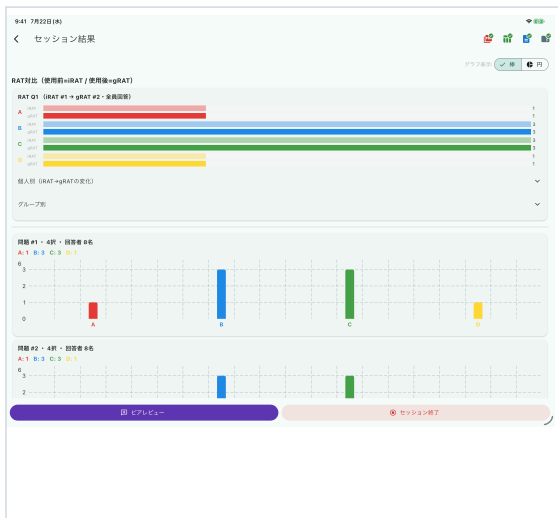
S-26

結果画面



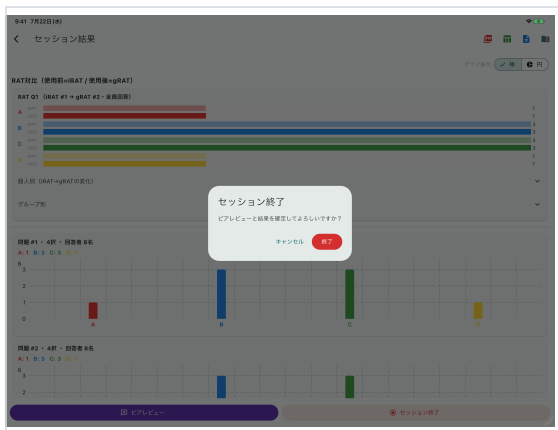
セッションの結果画面です。全問の集計と記述回答の一覧を確認でき、棒／円の一括切替ができます。画面下部には「ピアレビュー開始」（RATで班データがある場合）と「セッション終了」が並びます。1.1.1 で旧「ホームへ」ボタンは廃止し、セッション終了へ一本化しました。1.1.3 からは、進行中でも参加コード画面の「結果を見る」（第3章 S-04）から、セッションを終了せずにこの画面を開けます。戻れば進行中の画面にそのまま戻れるので、授業の途中で集計を確認したり、先に結果を出力しておいたりできます。

結果出力ボタン群



右上のPDF（赤）／Excel（緑）／CSV（青）／ZIP（灰）アイコンから結果を出力できます。すでに保存済みの形式には緑のチェックが重なります。出力には回答秒数・回答順・学生番号の列も含まれます。1.1.3 から、保存されるファイル名には時刻（_HHMMSS）が必ず付きます（例: ClassPulse_123456_143052.xlsx）。同じセッションを何度保存しても毎回別のファイルになるため、先に保存した正しいファイルを上書きしてしまうことはありません。そのぶんファイルは増えていくので、あとから使うときは名前の末尾の時刻がいちばん新しいものを選んでください。ZIP の中に入るファイルだけは、時刻の付かない素の名前です。

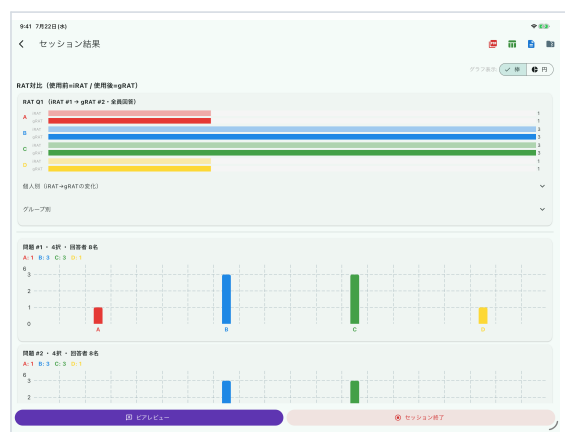
セッション終了確認



セッションを終了するときの確認ダイアログです。文言は状況で分かれ、ピアレビュー実施中は「ピアレビューと結果を確定してよろしいですか?」、通常は「結果を確定してよろしいでしょうか?」と表示されます。

セッション終了後も30分間は、その参加コードがサーバーに「終了済み」として記録されています。終了した時点で学生は入り直せませんが、この間に入ろうとした学生には「セッションが終了しました。新しいコードを読み取ってください」と案内されます。30分を過ぎると同じ参加コードは無効になり、「セッションが見つかりません」の扱いになります。

RAT対比表示



RATセッション結果の対比表示です。「RAT対比（使用前=iRAT / 使用後=gRAT）」で選択肢ごとにiRAT→gRATの人数変化を表示します。gRATを再回答した問題には「gRAT再回答: 計n回」と全試行が併記されます。個人別・グループ別も展開できます。

■ 第8章 トラブル対応

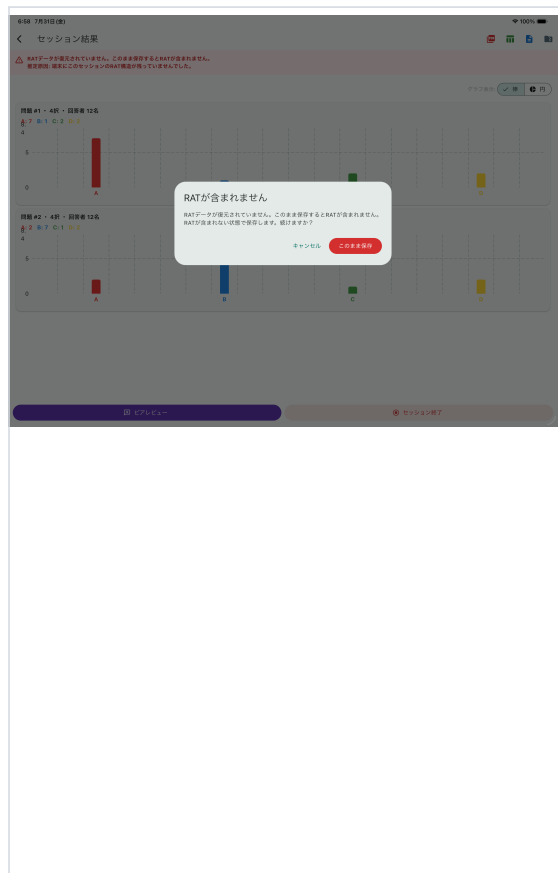
S-23

固有キー重複バナー



同一の固有キーが複数の端末で使われると、上部に「同一キーの重複利用を検知」の警告バナーが出ます。「無効化」で該当キーの回答をまとめて無効化でき、選択者一覧からも個別に無効化できます。

RATが復元されていない警告



授業中にアプリが終了するなどして RAT

セッションに入り直したとき、RAT の集計が復元できていないと、結果画面の先頭に閉じられない赤い警告帯が出ます。文言は「RATデータが復元されていません。このまま保存するとRATが含まれません。」で、その下に推定原因（サーバーが締切済み設問の履歴を再送しなかった / 端末にこのセッションのRAT構造が残っていなかった等）が併記されます。班別（代表者）集計だけが過大になるおそれがある場合は「RAT構造の復元前に結果を取り込みました。RATは出力に含まれますが、班別（代表者）集計が過大になっている可能性があります。」に変わります。この状態では、PDF / Excel / CSV / ZIP のどれを押しても保存の前に確認ダイアログ（「RATが含まれません」）が挟まり、ボタンは左が「キャンセル」、右が赤い「このまま保存」になります。赤いボタンは不完全なまま保存するという意味なので、通常は「キャンセル」を選び、いったんホームへ戻って「前回セッションに復帰」をもう一度試してください（第11章）。

保存されるファイル名には時刻が付くため、あとから正しい結果を保存し直しても、先に保存したファイルを上書きすることはありません。

■ 第9章 合同授業とクラス名

S-40

合同授業（複数の名簿を1セッションに）



複数のクラスを1つのセッションに合流させる「合同授業」です。モード選択で「複数の名簿を使用」トグルをONにすると別窓が開き、チェックボックスで名簿を複数選択して1セッションに合流できます。合流した名簿は端末内で結合され、学生番号が重複した場合は S01→S01a / S01b のように自動で一意化されます。結果のCSV / PDFには「名簿」列が出力され、各回答者がどのクラス（名簿セット名）のものが記録されます。合同でない単一講義でも「名簿」列は常に出力され、値には使用した名簿セット名が入ります。

合流警告（学生番号の衝突）

23:00

<
キーの重複を調整しました

同じ固有キーが複数の名簿にあったため、区別できるようキーを変更しました。

i
該当する学生には、参加時に新しいキー（例 01→01b）を入力してもらってください。合同クラスはこの端末内でのみ結合され、サーバーには名簿を送りません。

元キー	新キー	名簿	氏名
S01	S01a	3年A組	山田太郎
S02	S02a	3年A組	佐藤花子
S01	S01b	3年B組	田中健太
S02	S02b	3年B組	渡辺由美

戻る（選択し直す）

この内容で開始

複数の名簿を合流したときに、異なるクラス間で同じ学生番号が使われていると表示される合流警告の画面です。衝突した番号は S01 → S01a / S01b のようにクラスごとに自動で枝番が付き、一意化されます。どの番号がどのクラスへ割り当て直されたかを一覧で確認できます。合流後も各回答は「名簿」列のクラス名で区別されるため、集計や出力で取り違いは起きません。

合同RAT（複数の編成を合流）



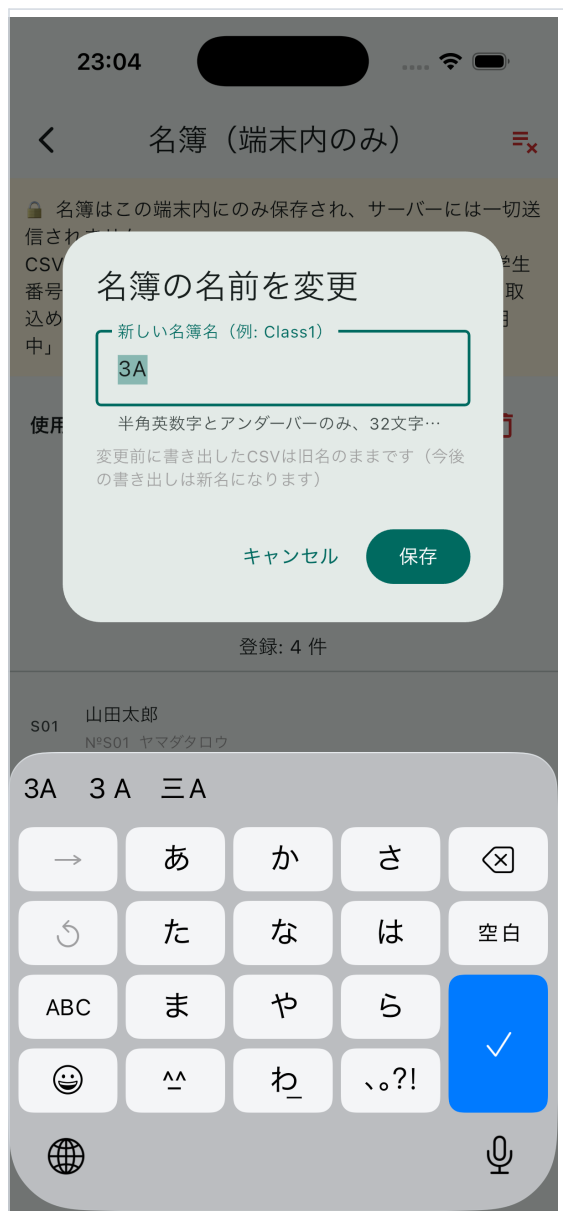
RATセッションでも複数のRATグループ（編成）を合流できる「合同RAT」です。RATをONにしたうえで編成の複数選択（別窓）から複数の編成をチェックすると、合流したグループでチーム戦を実施できます。合流時はグループ名にクラス名が前置され、1組-G1 / 2組-G1のように、どのクラスのどの班かがひと目で分かる表示になります。

クラス名の入力規則とCPA連携



名簿セット名・RATグループ名（＝クラス名）を新規作成・改名するときの入力規則です。使えるのは半角英数字とアンダーバー、32文字以内です（例: Class1 / Med_2026）。大文字小文字は区別されず、Class1 と class1 は同一クラス扱いになり、両方を同時には作成できません。既存の日本語名などはそのまま使い続けられ（後方互換）、規則が効くのは新規作成・改名のときだけです。 CPA連携: Studio で付けたクラス名（名簿セット名）と ClassPulse Assessment（CPA）側のクラス名を同一の英数字にそろえておくと、合同講義の成績処理が自動で正しいクラスへ振り分けられます。合同授業をCPAと併用する場合は、両アプリでクラス名を一致させておくことをおすすめします。

名簿セット・RATグループの改名

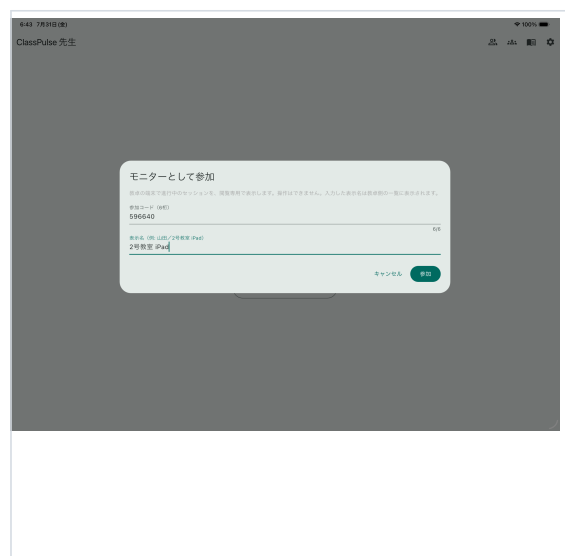


名簿セット・RATグループはドロップダウン横の鉛筆アイコンから改名できます。改名ダイアログの初期値には、旧名から英数字を拾った候補が入ります（例: 3年A組→3A）。入力規則は作成時と同じ（半角英数字とアンダーバー・32文字以内・大文字小文字を区別しない）です。【重要】改名する前にすでに書き出し済みのCSV / PDFは旧いクラス名のまま残ります。改名後に書き出す結果からは新しいクラス名になります。改名前に書き出したCSVは旧名のため、集計を突き合わせる際はクラス名の新旧にご注意ください。

■ 第10章 閲覧専用モニター

S-45

モニターとして参加

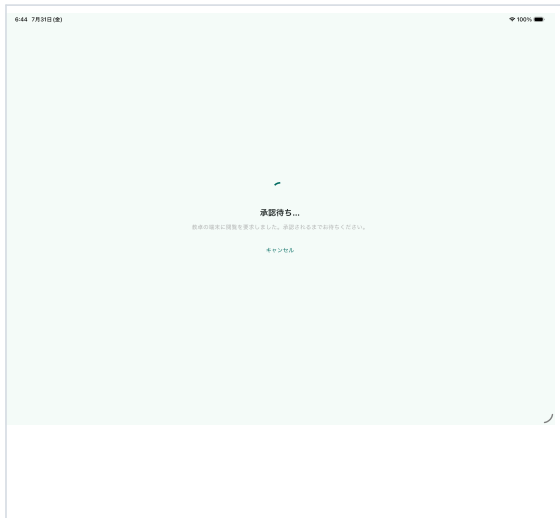


別の端末（もう1台のiPadなど）から、進行中の授業画面を閲覧専用で見るための入口です。Studio

のホーム画面（第1章 S-01）の「モニターとして参加」を押すと、このダイアログが開きます。教卓の画面に出ている参加コード（6桁）と、自分の表示名（例: 山田 / 2号教室 iPad）を入力します。表示名は教卓側の承認ダイアログと接続中の一覧にそのまま表示されるため、誰が見に来たのかを教卓で判断できるよう必須にしています。6桁の数字と表示名の両方がそろうまで「参加」は押せません。前回入力した表示名は、次回から自動で入ります。

表示名は自己申告の文字列です。端末の名前を自動で取得しているわけではありません。

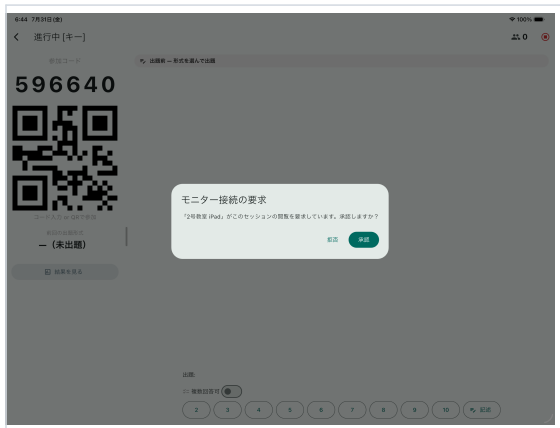
モニターの承認待ち



「参加」を押すと、教卓の端末が承認するまでこの画面で待ちます（「承認待ち...」「教卓の端末に閲覧を要求しました。承認されるまでお待ちください。」）。待つのをやめるときは「キャンセル」を押します。承認されなかった場合や接続できなかった場合は、理由が全画面で表示されます。「教卓の端末に拒否されました」/「モニターの接続数が上限に達しています」（同時に接続できるのは最大3台です）/「この参加コードではモニター接続できません」/「教卓の端末が接続していません」の4種類です。参加コードを打ち間違えていないか、教卓の端末がセッションを開いたままかを確認して、もう一度やり直してください。

S-46

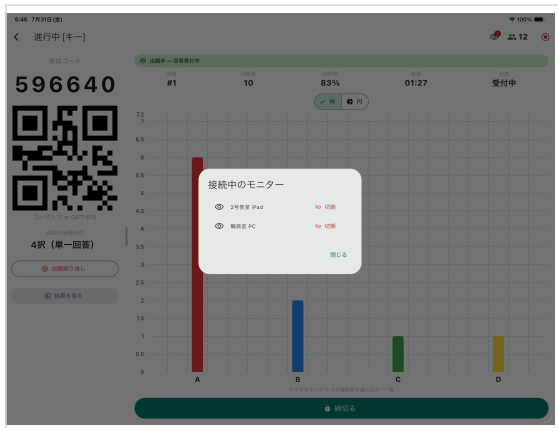
モニター接続の要求（教卓側）



モニターが参加を要求すると、教卓の端末に「モニター接続の要求」ダイアログが自動で表示されます。本文には「『』がこのセッションの閲覧を要求しています。承認しますか？」と、相手が入力した表示名が入ります。教卓が「承認」を押すまで相手には何も表示されないため、知らないうちに授業画面を覗かれることはありません。表示名で相手を確認してから承認してください。心当たりがなければ「拒否」を押します。同時に接続できるモニターは最大3台です。

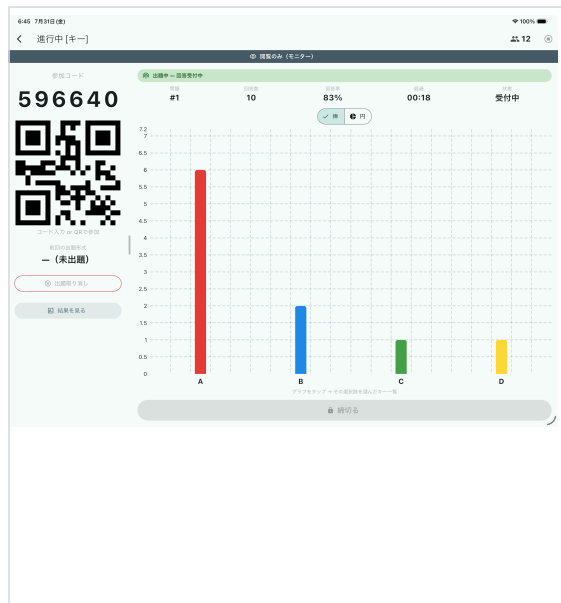
S-47

接続中のモニター一覧



承認すると、教卓のヘッダーに目のアイコンと接続台数のバッジが表示されます。これをタップすると「接続中のモニター」の一覧が開きます。各行に相手の表示名が並び、右の「切断」を押すとその端末だけ閲覧を止められます。切断された側には「教卓の端末からモニター接続を切断されました」と表示されます。接続が1台もないときは目のアイコン自体が表示されず、一覧を開いても「接続中のモニターはありません」となります。

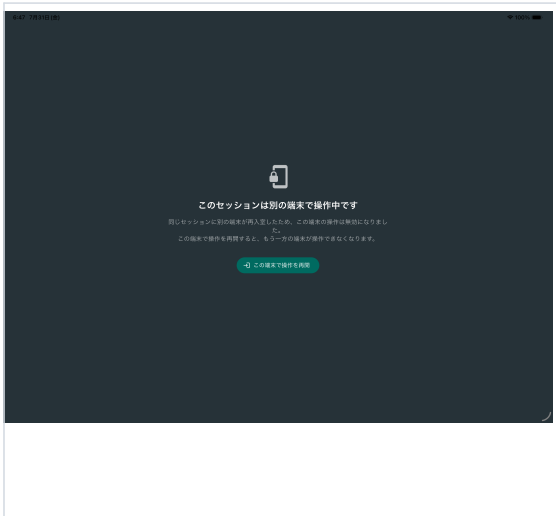
モニター側の画面（閲覧のみ）



承認されたモニター端末では、教卓とまったく同じ進行画面が表示され、出題・集計・グラフがそのまま同期します。画面の最上部には「閲覧のみ（モニター）」の帯が常時表示されます。出題・「締切る」・集約の切替・複数回答可トグル・セッション終了などの操作ボタンは押せない状態（グレー）になり、触れると「閲覧専用のため操作できません」と表示されます。結果の出力（PDF / Excel / CSV / ZIP）だけは有効なままなので、教卓の端末に不具合が起きたときのバックアップとしても使えます。講義室の後方に置いたサブ端末で進行を確認したり、TAが別席から集計を見たりする用途を想定しています。

モニター端末は参加人数に数えられません。学生としての参加とは完全に別枠です。

別の端末で操作中



教卓（操作する側）は常に1台だけです。同じセッションに教員としてもう1台が入り直すと、先に使っていた端末はこの全画面に切り替わり、操作できなくなります。「このセッションは別の端末で操作中です」「同じセッションに別の端末が再入室したため、この端末の操作は無効になりました。この端末で操作を再開すると、もう一方の端末が操作できなくなります。」と表示されます。誤って2台目から入ってしまったときは、元の端末で「この端末で操作を再開」を押せば操作権が戻ります。授業画面を別の端末で見るだけにした場合は、この経路ではなく「モニターとして参加」（S-45）を使ってください。

■ 第11章 データを失わないために

S-53

アプリを前面に置いたままにする

待ち時間の長い工程では、Studio を画面に出したままにしてください。ピアレビューは、班の全員が評価を送り終えるまでに数分かかることがあります。出席確認の受付中や、記述式の回答待ちも同じです。この待ち時間に Studio を後ろに回して別のアプリを使ったり、画面を消したまま長く放置したりすると、端末のOSがメモリを空けるために ClassPulse Studio を終了させてしまうことがあります。これはアプリの不具合ではなく、iPad / iPhone の標準的なふるまいです。教卓の端末は電源につないだうえで、自動ロックを「なし」または長めに設定しておく、より確実です。

万一アプリが終了してしまっても、結果は戻ります。もう一度 Studio を起動すると、ホーム画面に「前回セッションに復帰」が表示されます。これを押せば同じセッションに教員として戻れます。保持期間は先生の最後の接続から90分です。休み時間をまたぐ程度なら問題ありませんが、90分を超えるとセッションは自動的に終了し、復帰できなくなります。長く離れる場合は、いったん「結果を見る」から出力しておくことをおすすめします。1.1.3 からは、RAT (iRAT / gRAT) の集計とピアレビューの結果もサーバー側が保持しているため、復帰した時点で結果が画面に戻ってきます。学生側も同じで、Join アプリが終了しても、同じ参加コードで入り直せば送信済みの回答は残っています。

どうしても授業中に別のアプリを使う必要があるときは、先に結果を出力 (PDF / Excel / CSV / ZIP) してから切り替えると安心です。出力は、進行中でも参加コード画面の「結果を見る」(第3章 S-04) からセッションを終了せずに行えます。

「前回セッションに復帰」はホーム画面にセッションが残っているときだけ表示されます。表示されないときは、その端末で先にセッション終了を押していないかを確認してください。なお、最後の接続から90分を超えるとサーバー側でセッションが自動終了するため、ボタンが表示されていても押した時点で「ルームが見つかりません」となり、ホーム画面に戻ります。

「復元されていません」と出たら保存しない

復帰したあと、結果画面の先頭に赤い警告帯が出る場合があります。文言は「RATデータが復元されていません。このまま保存するとRATが含まれません。」です（第8章 S-50 に実際の画面があります）。これは、RATの集計をサーバーから取り直せなかったことを知らせるものです。

この警告が出ている間は、そのまま保存しないでください。保存の操作自体はできてしまいますが、出来上がるファイルにはRATの集計が入っていない（あるいは班別の集計が過大になっている）不完全な結果になります。PDF / Excel / CSV / ZIP のどれを押しても、保存の前に確認ダイアログが挟まります。ボタンは左が「キャンセル」、右が赤い「このまま保存」です。赤い「このまま保存」は、不完全だと承知のうえで保存するという意味なので、通常は「キャンセル」を選んでください。

警告が出たときの手順

(1) いったんホーム画面へ戻り、もう一度「前回セッションに復帰」を試してください。多くの場合はこれで復元され、警告帯が消えます。

(2) それでも警告が消えないときは、セッションを終了せずにそのままにして、AMR Team TOKAI までご連絡ください。セッションが残っていればサーバー側に結果が残っているため、あとから取り出せる可能性があります。セッションを終了してしまうと、その手立てがなくなります。

警告帯は閉じられません。表示が消えるのは、復元に成功したときだけです。

出力ファイル名と、終了前の出力

出力ファイル名には時刻が付きます。保存されるファイルの名前には、必ず時刻（_HHMMSS）が付きます（例: ClassPulse_123456_143052.xlsx）。同じ授業で2回出力しても、前に保存したファイルを上書きすることはありません。あとから正しい結果を保存し直しても、先に保存したファイルはそのまま残ります。

そのぶん、出力を繰り返すとファイルは増えていきます。あとで開くときは、名前の末尾の時刻がいちばん新しいものを使ってください。ZIP

の中に入っているファイルだけは、時刻の付かない素の名前になっています。

セッションは、結果を出力してから終了してください。出力せずに「セッション終了」を押すと確認ダイアログが表示されます（第7章 S-38）。警告が出たら、いったん取り消して先に出力してください。終了してしまうと、その端末から同じ結果画面を開くことはできなくなります。授業の途中でも、参加コード画面の「結果を見る」（第3章 S-04）から、セッションを終了せずに結果画面を開いて出力できます。長い授業では、途中で一度出力しておくとう安心です。

なお、ピアレビューを実施すると出力内容が変わるため、それ以前に保存したファイルは未保存の扱いに戻り、「ピアレビューの結果が追加されました。データを保存し直してください」と案内されます（第6章 S-36）。この場合も、保存し直したファイルは時刻の違う別名になるので、前のファイルが消えることはありません。